



【会長のご挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長 多賀康之

新年明けましておめでとうございます。3年ぶりに行動制限のない年末年始を迎え、旅行や帰省をされた方もいらつしたかと存じます。さて、昨年を振り返りますと、冬季五輪北京大会の開催、日本プロ野球で若き三冠王の誕生、MLBでは大谷翔平選手が規定打球回数・規定打席数と2桁勝利2桁本塁打の偉業を達成、サッカーWCではドイツ、スペインの強豪国に勝利し決勝トーナメントに進出など、スポーツ界では、明るい話題がありました。しかし、ロシアのウクライナ侵略など痛ましいに振舞いによつて、物価は上昇し、円安が進みました。新型コロナウイルス感染症は年明けの第六波、真夏の第七波、年末の第八波と3回の波が襲つて来ました。重症者数が少なくなり、対応ベッドの使用率も50%切っていることもあり、政府・自治体は経済優先の舵取りをしています。町会活動も徐々に通常の活動に戻れば良いと考えます。

近年は、温暖化の影響かどうか分からないですが、気温が20℃～25℃の丁度よい気候が少なくなり、夏から一気に冬になってしまう感じがします。昨年9月の前号発行からの動きですが、全国地域安全運動、火災予防週間、墨中地区防災活動拠点会

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第九十五号

令和五年一月三十一日

議、歳末特別警戒巡回、防災訓練等、防火防災防犯関係の行事が続きました。特に12月27日～29日の歳末特別警戒巡回には、年末のお忙しいところ多くの方に会館に詰めていただき、巡回していただきました。また、1月14日に行われました防災訓練は、貸切状態で中身の濃い充実した訓練を実施しました。

昨年12月23日～今年1月12日にかけて21日間降水量ゼロの日が続き、12月27日には向島消防署管内ですが大規模火災が発生したことは記憶に新しいです。冬は空気が乾燥し、燃えやすくなつておりますので、火災予防運動などがない時でも常日頃から火の元には十分気をつけていただきたいと思ひます。町会の行事ではないですが、東武線の高架化が進み、11月27日より上り線の開通がなりました。下り線も1月29日から北側に移動し、単線の踏切になりました。町会会館大掃除にも多数のご奉仕をありがとうございました。会館の大掃除の日時点で、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加傾向でしたので、今年の新年会も中止とさせていただきます。今年の総会、祭礼、来年の新年会などは通常通り開催できることを祈るばかりです。

現在回覧で申し込みを促しております「区民交通傷害保険」ですが、義務化されております「東京都自転車条例」の自転車保険に対応しておりますので、お申し込みの検討をお願いいたします。また、墨田区ではPa

y Payの30%還元キャンペーンを2月5日まで行っています。町内で開催しているところは、以下の通りです。

いちりきや、芳茗園茶舗、ABCファミリー、tomoru、すみ屋はなれ、TASコーヒー、めだか、SORASTAGIO、La Padella d'Oro、Chic、Hy's等

最後に、特殊詐欺への注意喚起で、締めたいと思ひます。昨年は本所警察署長に話を聞く機会が数度ありましたが、毎回毎回しつこくお話をされるお話です。警察官、銀行員、区役所職員などに成りすまして、キャッシュカードを奪い取つたり、ATMで振り込ませるなどの口実です。電話がかかつてきて、以下の言葉が入つていたら間違いなく詐欺ですので、警察に連絡してください。キーワードは、「還付金・お金が戻る」「キャッシュカード・カード」「暗証番号」です。また、ATMで電話をしている人を見かけたら、詐欺にあつている電話ですので、銀行の係の人を呼ぶなりして被害を未然に防ぎましょう。

政府も東京都も経済の復活に力を入れております。以前のように活気ある社会を取り戻せるのはもう少しであると考えています。どんなに苦境に立たされても、気持ちだけは前向きに明るく参りましょう。

【総務部長】

大橋 祥子

新年明けましておめでとうございませう。新型コロナウイルスが流行して4年目に入ろうとしています。感染者も減少する様子も無く、相変わらず不安な毎日ですが感染対策を怠らないよう

に油断は禁物です。

町会の掲示板を見たことがありますか？自宅に週に1～2回ほど、飛木稲荷神社・墨田区役所・警察・消防・等各方面から回覧、掲示用に資料が送られてきます。丁寧に参加していただいたり、ポストに入れさせていただきましたと、わざわざ電話をくださったります。掲示板的掲示も総務の仕事の一つです。日程を確認して新旧差し替への繰り返しです。

「掲示板なんかどうせ誰も見ないでしょう」と言う人もいるでしょう。しかし区民の皆様には伝えたい、お知らせしたい事があるから作成から発行・各町会への配布まで大変な業務をしている方々がいます。

区役所から掲示板の新規設置費用に助成金が出る仕組みもあるほどです。「掲示板なんか…」と言わずたまには少しでも気にかけていただければと思います。地区部長の方々には回覧・配布物等お世話になり有難う御座います。

【しらとり子供会】

笠松 貴美子

今年度も数か月と残りわずかとなりました。冒頭の挨拶で『コロナ』や『感染』などのキーワードを使用しないことはないくらい今年度もコロナの感染状況を見ながらの活動となりました。

子ども会として楽しい行事を行うことができない年でしたが、3月に押上町会子供会と合同でボーリング大会を企画しております。感染状況にもよりますが、感染対策のもと開催できればと考えているところですので。今回は6年生の登校班での活躍

をご紹介します。登校班は押上1丁目子供会と合同で約20名です。6年生は主に先頭と最後方に配置されています。お友達とおしゃべりに夢中の子どもや歩道からはみ出しそうな子どもなどへ旗当番（保護者）が声かけや誘導を行っています。旗当番1名では大変な時もあります。そこでとても力になるのが6年生です。

6年生と一緒に声掛けや誘導をしてくれるとても頼もしい存在です。今年度、頼もしい6年生2名が3月に巣立ちを迎えます。感謝の気持ちと寂しい気持ちでいっぱいですが、また新6年生がバトンを引き継いでくれることと思ひます。

【地域安全部】

高野 裕

新年あけましておめでとうございませう。昨年の地域安全部の活動は、町会会員及び役員、地域の皆様のご理解、ご協力を頂き、年末の十二月二十七日～二十九日にかけて、3日間の歳末特別警戒を実施することができました。誠にありがとうございました。当日は、事前に告知したように人同士の距離や、飲食の制限を行う等、感染症対策を実施し活動しました。昨年からは外国人の入国規制が緩和され、押上もスカイツリーを中心として、外国人観光客が徐々に増加し、コロナ禍前の活気が戻りつつあります。

人が増えることで良い影響もある反面、コロナ禍には少なくなった人同士のトラブルや近年増加する特殊な犯罪も増加する可能性があります。個人で用心することも重要ですが、地道な地域の活動も治安の悪化や犯罪に対する抑止力になるかと考えていま



す。今後も多くの方々にご協力頂きますと幸いです。よろしくお願い申し上げます。

町内の皆様今コロナが流行して大変ですが体にじゅうぶん気をつけて、お暮し下さい。

結びに皆様のご健勝とご繁栄をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

【押上界隈の歴史あれこれ】

三四 本所の開拓

横井 正男

今回は、北十間川を挟んで押上の南隣り本所南部地区開拓の経緯について紹介します。

押仲七七号の裏面「一六、曳舟川通り」の項で、本所の開拓について概略次の様に紹介しました。

・およそ三六〇年前の明暦三年（一六五七）の明暦振袖火事（江戸時代最大の大火）により、江戸市中は三分の二を焼失、死者は一〇万人を超えた。

・徳川幕府は江戸の復興と防火・延焼防止対策のため、広い火除け地（広小路）を各地に設け、道路の拡幅を計画した。

・そのために市中の多くの人々を移住させる、その移転先として、当時はまだ東京湾奥の湿地帯であった隅田川の東側地域（現本所地区）開拓を計画した。

・幕府は本所の開拓に築地奉行を設け、奉行には徳山五兵衛及び山崎四郎左衛門を任命した。

今号では、この湿地の開拓の経緯を深掘りして紹介します。

石原一丁目に築地奉行であった徳山五兵衛を祀る徳之山稻荷神社（写真1）があります。



写真1

徳之山稻荷神社

境内にある説明板には次の様に記されています。

『徳山五兵衛と山崎四郎左衛門の二人が初代の本所築地奉行として任命されました。徳山五兵衛は功により、幕府からこのあたりに邸地を与えられました。稲荷社は屋敷神として祀られていましたが、五兵衛の死後、その徳を称えた人々により御霊が合祀され、徳之山稲荷神社として大切にされてきました。』

平成十六年三月 墨田教育委員会

本所の開拓には資材・物資等を輸送する舟のための運河を設けました。

運河は、江戸城から見て東の縦方向に堅川（現首都高速七号小松川線高架の下）を隅田川から中川までの間、約六kmを開削しました。また、開拓地中央の南北方向には横川（現大横川親水公園）を開削、横川の約一km東側に並行して横十間川を開削、開拓地域の北端には、ほぼ海岸線に沿って北十間川を開削しました。開削した土砂は盛り土になりました。

更に道路は南北方向に横川に並行して造りました。道路の名称は、隅田川に近い方から順に「一つ目

通り（現一の橋通り・国技館通り）」次に「二つ目通り（清澄通り）」・・・と名付けました。

現在の三つ目通り・四つ目通りは、この頃の名称がそのまま残っています。堅川には、それぞれの道に橋を架けました。橋の名前は通りに合わせて一之橋・二之橋・三之橋・・・として現在も残っています。

一方、堅川に並行して東西方向に設けた主要道路には、雨水や盛り土から滲み出る水を河川に放流するために、道路の中央に掘割を設けました。これが「南割下水（現在の北斎通り）」及び「北割下水（同春日通り）」です。下水とは「上水（飲料水）」ではない」という意味です。

現在の墨田区南部（旧本所区）の道路が基盤の目の様な整然とした直線の区割りになっている原点は、この開拓の時にあったのです。

幕府は、この様にして出来た新しい開拓地に、大火以前は江戸市中に

居を構えていた大名屋敷・武家屋敷・寺社・町人たちを移住させました。上の絵図（図1）は文久三年（一八六三）発行の尾張屋版江戸切絵図「本所絵図」の抜粋です。

絵図の中に、本所開拓に功績があった築地奉行の徳山五兵衛邸（○印）の名が記されています。何故か？同時に本所築地奉行であった山崎四郎左衛門の名は残っていません。

絵図の北西部（左上隅田川東岸、現在の吾妻橋・東駒形・本所の一・二丁目辺り）の地域は東西南北に並行した直線道路になっていません。ここは、開拓以前から陸地であった牛島の名残りで、当時のままの道路であったことが判ります。

この地域が、現在の様に区画整理された直線道路の街並みになったのは、大正十二年（一九二三）九月一日に発生した関東大震災後の復興事業によります。

この時、本所南部地区全体の道路も拡幅が行われ、整然と区画された現在の街並みになりました。（図2）



図1

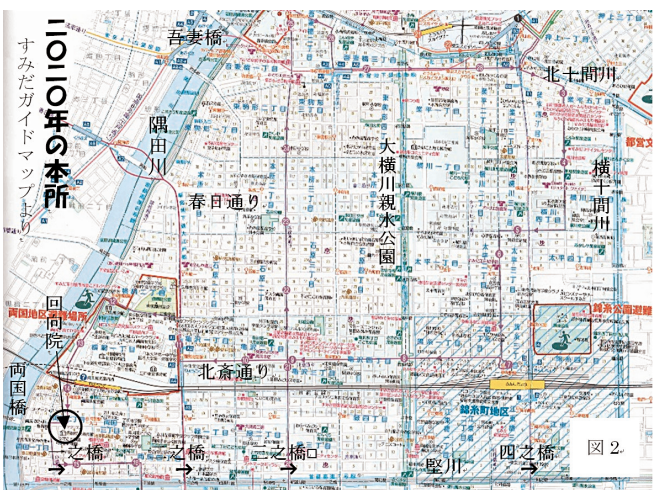


図2

【防災訓練】

防災訓練が一月十四日 本所防災館にて実施されました。薄曇りの中、午前八時に集合し、本所防災館まで歩いて行きました。

今年9月は関東大震災から百年になります。日常から災害対応の心構えを忘れない気持ちが大切だと気付かされました。



押上一丁目仲町会参加メンバーの方々

【編集後記】

世の中のコロナ対応が段々と変化して、制限が緩和してきた。毎号発行の度に掲載原稿に苦労したが、町会活動も元通りになれば、今まで以上に内容も幅広く、興味深い記事が掲載出来るだろう。

町会長は令和4年度末で就任して2期4年が経ち、ようやく正常な総会が開催出来る今年の総会は、満を持して総会に臨み、これまでの報告や今後の計画を発表して、町会に活力を与えてくれるものと期待している。町会長が才能を発揮して、これから何を目指すのか、任期中に何をやるのか、そして町会にどんな歴史を残すのか、大いに注目したい。（MS）

